

平成 28 年 2 月 24 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番 18 号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 増田 要
 (コード番号: 8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古川 尚志
 問合せ先 管理本部 I R 部長 花村 誠
 TEL: 03-6422-0530

2016 年 1 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2016 年 1 月度におけるホテルの運営状況につき、月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うあるいは運営委託収入を得るホテルであって、ホテル賃借人等から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

<HMJ 5 ホテル>

ホテル/項目		1月度	対前年同月 増減(注7)	対前年同月比 増減率	累計(注8)	対前年累計 増減(注9)	対前年累計比 増減率
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	66.2%	-4.3%	-6.1%	66.2%	-4.3%	-6.1%
	ADR (円)	15,506	1,750	12.7%	15,506	1,750	12.7%
	RevPAR (円)	10,267	571	5.9%	10,267	571	5.9%
	売上高 (百万円)	326	-31	-8.8%	326	-31	-8.8%
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	92.8%	-6.2%	-6.2%	92.8%	-6.2%	-6.2%
	ADR (円)	16,299	238	1.5%	16,299	238	1.5%
	RevPAR (円)	15,130	-770	-4.8%	15,130	-770	-4.8%
	売上高 (百万円)	523	-19	-3.6%	523	-19	-3.6%
なんばオリエンタルホテル	稼働率	79.4%	-12.2%	-13.3%	79.4%	-12.2%	-13.3%
	ADR (円)	17,978	4,759	36.0%	17,978	4,759	36.0%
	RevPAR (円)	14,275	2,171	17.9%	14,275	2,171	17.9%
	売上高 (百万円)	203	17	9.0%	203	17	9.0%
ホテル日航アリビラ	稼働率	71.6%	-5.6%	-7.2%	71.6%	-5.6%	-7.2%
	ADR (円)	18,941	1,468	8.4%	18,941	1,468	8.4%
	RevPAR (円)	13,569	78	0.6%	13,569	78	0.6%
	売上高 (百万円)	339	-18	-5.1%	339	-18	-5.1%
オリエンタルホテル広島	稼働率	67.5%	-0.4%	-0.5%	67.5%	-0.4%	-0.5%
	ADR (円)	8,221	265	3.3%	8,221	265	3.3%
	RevPAR (円)	5,546	151	2.8%	5,546	151	2.8%
	売上高 (百万円)	125	-21	-14.3%	125	-21	-14.3%
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,514	-73	-4.6%	1,514	-73	-4.6%

<HMJ グループホテル>

ホテル/項目		1月度	対前年同月 増減(注7)	対前年同月比 増減率	累計(注8)	対前年累計 増減(注9)	対前年累計比 増減率
オキナワ マリオット リゾート&スパ	稼働率	80.3%			80.3%		
	ADR (円)	14,003			14,003		
	RevPAR (円)	11,244			11,244		
	売上高 (百万円)	257			257		
アクティブインターシティ広島 (シェラトンホテル広島)	稼働率	67.9%			67.9%		
	ADR (円)	15,593			15,593		
	RevPAR (円)	10,580			10,580		
	売上高 (百万円)	200			200		

<アコー6 ホテル>

ホテル/項目		1月度	対前年同月 増減(注7)	対前年同月比 増減率	累計(注8)	対前年累計 増減(注9)	対前年累計比 増減率
メルキュールホテル札幌	稼働率	86.4%	19.2%	28.5%	86.4%	19.2%	28.5%
	ADR (円)	9,207	399	4.5%	9,207	399	4.5%
	RevPAR (円)	7,955	2,032	34.3%	7,955	2,032	34.3%
	売上高 (百万円)	85	16	22.9%	85	16	22.9%
イビス スタイルズ 札幌	稼働率	87.0%	13.6%	18.5%	87.0%	13.6%	18.5%
	ADR (円)	7,009	597	9.3%	7,009	597	9.3%
	RevPAR (円)	6,097	1,392	29.6%	6,097	1,392	29.6%
	売上高 (百万円)	70	18	33.8%	70	18	33.8%
イビス東京新宿	稼働率	83.0%	-1.3%	-1.5%	83.0%	-1.3%	-1.5%
	ADR (円)	12,102	861	7.7%	12,102	861	7.7%
	RevPAR (円)	10,047	572	6.0%	10,047	572	6.0%
	売上高 (百万円)	70	2	3.2%	70	2	3.2%
イビス スタイルズ 京都ステーション	稼働率	87.1%	3.2%	3.8%	87.1%	3.2%	3.8%
	ADR (円)	8,714	1,133	14.9%	8,714	1,133	14.9%
	RevPAR (円)	7,588	1,231	19.4%	7,588	1,231	19.4%
	売上高 (百万円)	57	10	22.2%	57	10	22.2%
メルキュールホテル沖縄那覇	稼働率	77.1%	11.0%	16.6%	77.1%	11.0%	16.6%
	ADR (円)	9,497	673	7.6%	9,497	673	7.6%
	RevPAR (円)	7,319	1,486	25.5%	7,319	1,486	25.5%
	売上高 (百万円)	73	16	28.3%	73	16	28.3%
メルキュールホテル横須賀	稼働率	94.8%			94.8%		
	ADR (円)	12,193			12,193		
	RevPAR (円)	11,554			11,554		
	売上高 (百万円)	115			115		
上記6ホテル合計	売上高 (百万円)	470			470		

<ザ・ビー6ホテル>

ホテル/項目		1月度	対前年同月 増減(注7)	対前年同月比 増減率	累計(注8)	対前年累計 増減(注9)	対前年累計比 増減率
ザ・ビー 赤坂見附	稼働率	83.1%			83.1%		
	ADR (円)	11,365			11,365		
	RevPAR (円)	9,447			9,447		
	売上高 (百万円)	36			36		
ザ・ビー 池袋	稼働率	88.3%			88.3%		
	ADR (円)	9,962			9,962		
	RevPAR (円)	8,794			8,794		
	売上高 (百万円)	48			48		
ザ・ビー お茶の水	稼働率	89.9%			89.9%		
	ADR (円)	9,984			9,984		
	RevPAR (円)	8,973			8,973		
	売上高 (百万円)	20			20		
ザ・ビー 八王子	稼働率	84.9%			84.9%		
	ADR (円)	6,509			6,509		
	RevPAR (円)	5,527			5,527		
	売上高 (百万円)	42			42		
ザ・ビー 博多	稼働率	92.1%			92.1%		
	ADR (円)	7,039			7,039		
	RevPAR (円)	6,484			6,484		
	売上高 (百万円)	35			35		
ザ・ビー 水道橋	稼働率	82.6%			82.6%		
	ADR (円)	9,939			9,939		
	RevPAR (円)	8,206			8,206		
	売上高 (百万円)	25			25		
上記6ホテル合計	売上高 (百万円)	207			207		

<特記事項>

神戸メリケンパークオリエンタルホテル

宿泊部門の売上は、1月より実施している一部客室の改装工事に伴う販売停止の影響により、稼働率は減少したものの、より単価の高い顧客セグメントの取り込み施策が奏功しADRを増加させ、前年同月を上回りました。一方で、料飲部門の売上が前年同月を下回ったため、ホテルの総売上は前年同月を下回りました。

オリエンタルホテル東京ベイ

宿泊部門の売上は、需要に応じた価格施策を実施し、ADRを増加させたものの、1月より実施している一部客室の改装工事に伴う販売停止の影響により、稼働率が減少した結果、前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を下回りました。

なんばオリエンタルホテル

2015年12月より実施している一部客室の改装工事に伴う販売停止の影響により、稼働率は減少したものの、より単価の高い顧客セグメントの取り込みによりADRを増加させ、ホテルの総売上は前年同月を上回りました。

オリエンタルホテル広島

宿泊部門の売上は、1月より実施している一部客室の改装工事に伴う販売停止の影響があったものの、需要に応じた価格施策を実施し、国内レジャー需要を取り込んだ結果、前年同月を上回りました。一方で、料飲部門の売上が前年同月を下回ったため、ホテルの総売上は前年同月を下回りました。

メルキュールホテル札幌、イビスタイルズ札幌、メルキュールホテル沖縄那覇

好調なマーケットを背景に、国内外のレジャー需要を高単価で取り込んだ結果、ホテルの総売上は前年同月を上回りました。

※メルキュールホテル札幌、イビスタイルズ札幌、イビス東京新宿、イビスタイルズ京都ステーション、ザ・ビー赤坂見附、ザ・ビー池袋、ザ・ビー八王子、ザ・ビー博多の売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。また、前賃借人等から営業数値について開示の承諾を得られなかったため、メルキュールホテル札幌、イビス

スタイルズ 札幌、メルキュールホテル沖縄那覇については対前年累計増減が、オキナワ マリオット リゾート&スパ、アクティブインターシティ広島（シェラトンホテル広島）メルキュールホテル横須賀及びザ・ビー6 ホテルは対前年同月増減及び対前年累計増減がございません。

-
- 注 1) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人等から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- 注 4) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。なお、アコー6 ホテル及びザ・ビー6 ホテルはサービス料がありません。
- 注 5) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 6) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは期首（1月）から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、期首（1月）から当該月までの累計値と前年同期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.co.jp/>